

タイムラインを全国に広めよう！

～水防災タイムライン・カンファレンス 2018 in 球磨川～ 紀南河川国道事務所

三重県紀宝町で我が国最初にタイムラインが導入されて4年が経過し、現在、全国各地でタイムライン防災の試行・運用がなされています。

全国での取り組みを共有し、実効性を高めるため、タイムライン防災の取り組みが防災力向上に寄与している球磨川(熊本県人吉市・球磨村)において、全国のタイムライン導入自治体等が一堂に会し「水防災タイムライン・カンファレンス2018in球磨川」が開催されました。

実務者によるワークショップでの「タイムラインの課題を対応」に関する議論を経て、タイムライン導入自治体首長らによるパネルディスカッションにおいて「タイムライン導入効果と今後の展望」について意見交換が行われました。以上を踏まえ、各機関の連携と更なるタイムライン拡大を柱とした「球磨川宣言」が採択されました。

タイムラインカンファレンス in 球磨川の概要

- <日 時> 平成30年 2月7日(水)～9日(金)
 <場所・主催> 熊本県人吉市、球磨村、環境防災総合政策研究機構(CeMI)
 <事務局> 九州地方整備局八代河川国道事務所
 <参画機関> 北海道滝川市、平取町、高知県大豊町、大阪府貝塚市、
 三重県紀宝町、岐阜県多治見市、岡山市、広島市
 長崎県諫早市、熊本県八代市、人吉市、球磨村、
 国土交通省(気象台、本省河川環境課、各事務所)

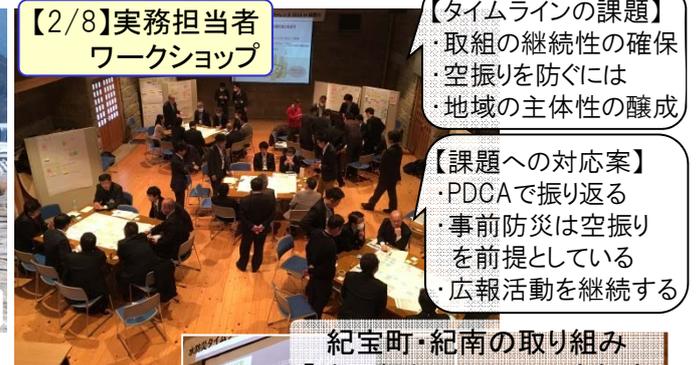
位置図



【2/7】現地視察



【2/8】実務担当者 ワークショップ



【2/9】カンファレンス

球磨川宣言(要約)

- ・気象現象の激甚化を再認識し、ハード・ソフト対策を充実させる。
- ・水防災意識社会の再構築を継続する。
- ・タイムラインにより各機関で連携し、地域防災力向上を図る。
- ・タイムライン拡大のため、情報発信に努める。



【2/9】パネルディスカッション 「タイムライン導入効果」と「今後の展望」



【問合せ】国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査課
 〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142 TEL 0739-22-4564(代表)

水防災意識社会
 再構築ビジョン

